

社協だより

7.15

2015 No.57

〒876-0844 大分県
佐伯市向島1-1-3
社協会館「きすな」
TEL0972-24-2956
FAX0972-22-9031

SAIKI SHAKYO 編集・発行 社会福祉法人 佐伯市社会福祉協議会
E-mail/sashakyo@saiki.tv HP/http://www.sashakyo.or.jp

夏だ! ボランティアをしよう!



あなたの参加を
待っています。

～あなたの力を誰かのために使いませんか?～

☆昨年参加した方の感想

- 本当に初めての事ばかりで驚くことがたくさんあった。
- 初めはうまくいきませんでした。だんだんできるようになり楽しかった。
- とってもパワフルな子どもたちが多くて元気をもらいました。
- 日頃できないことを経験できたのでよかった。
- 非常に楽しかった。また機会があればぜひ来たいと思う。
- ボランティア体験を通して、福祉関係の仕事につこうと思った。
- たくさんの方と触れ合えてよかった。



※ 写真は昨年の様子

夏のボランティア体験についての問い合わせ…地域福祉課 稲垣 (22-24150)

目次

夏のボランティア体験月間……表紙
ちびっこフェスティバル……2
子育てサロン情報紙について……2
会長あいさつ……3
お出かけカメラ……4

緊急情報キット……4
事業報告・決算報告……5
会費……6
豊寿苑盆踊り花火大会……7
福祉の仕事体験……7

大きな市の小さな物語……7
香典返し……8
心配ごと・法律相談……8
歳末助成募集……8
編集後記……8

第10回

社協ちびっこフェスティバル

8.23 佐伯市保健福祉総合センター「和楽」 (日) 10時～14時30分 (雨天決行)

佐伯市社会福祉協議会では、子どもたちに遊びをとおして福祉に興味をもってもらいたいという願いを込めて、社協ちびっこフェスティバルを毎年実施しています。



遊んで、おぼろー！



★福祉体験コーナー★

- ・アイマスク体験・手話体験・点字体験
- ・車いす体験

★チャレンジコーナー★

- ・ふれあい茶会・チャレンジゲーム・折り紙教室など

★福祉ふれあい広場★

- ・福祉施設による物品販売

★無料配布コーナー★

- ・かき氷・ポップコーン等

※いずれも数に限りがあります。

オープニングでは、
社協イメージ
キャラクター
『ひとしずくちゃん』
が登場♪

各コーナーを回る
スタンプラリー
開催予定！



※駐車場には限りがありますので、出来るだけ乗り合わせでお越しください。

子育てサロンへきてみませんか

♡子育てサロン情報誌できました♡

『初めての育児に不安』『引っ越してきたばかりなので、子どもと出かけられる場所を知りたい』などの声を聞き、今回、子育てサロン情報誌を作りました。気軽に子育てサロンへ出かけてみませんか。

【情報誌の設置場所】

- 佐伯市社会福祉協議会
- 佐伯市役所 健康増進課
- 佐伯市役所 子育て支援課



ごあいさつ

佐伯市社会福祉協議会会長 三浦政信



市民の皆様には、日頃から佐伯市社会福祉協議会が行う様々な事業について多大なるご支援ご協力をたまり厚く御礼申し上げます。

本年5月12日に能瀬前会長の後任として会長に就任致しました。

私は長年造船業を営んできましたが、福祉分野につきましては経験が浅く、まだまだ勉強中の身です。

就任するに当たり、現在の社会福祉協議会における経営状況や取り巻く環境等については、非常に厳しい状況だと伺っております。しかし、厳しい時だからこそ、職員一丸となって福祉事業に取り組んでいきたいと考えております。

さて、佐伯市に目を向けますと少子高齢社会にともなう人口減社会の到来や、一人暮らし高

齢者等の社会的孤立状態に陥りやすい人が更に増加すると予測されるなど大きく変化をしております。高齢者だけでなく若い世代の孤立や児童、障がい者等に対する人権問題、生活困窮者への支援など地域には多くの生活課題や福祉課題が生じています。

また、近年は家族や地域社会の絆が弱まり、深刻な課題を抱え悩んでいる地域の人々が増加している中、社会福祉協議会の果たす役割は、ますます重要性を増してきています。

さらに地震や台風などの災害が発生した場合の対応のために社会福祉協議会の日頃の努力の積み重ねが強く求められております。

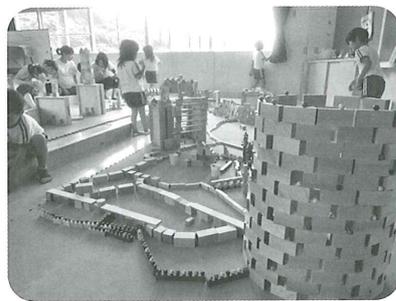
そのような中で「顔の見える関係づくり」、「ともに生きる社会づくり」という理念をもって、誰もが住み慣れた地域でいきいきと自立した生活を送れることを目指し、またみんなが安心して暮らせるまちを築くため一所懸命に努力をする覚悟であります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

子ども達の

健全育成に役立てます

5月29日(金)、蒲江児童館にて、NPO「こまこ」様(代表 高橋寿恵さん)より、積み木をいただきました。



した。

同団体は、アルミ缶を回収し、その売却による利益をもとに社会貢献活動を行っています。

この積み木は、蒲江児童館が行う移動児童館等で活用していく予定です。

、ありがとうございました。

第5回 蒲江児童館まつり

～蒲江のお仕事を体験しよう!～

警察官・消防士・看護師や地元商店など様々な「職業体験」ができ、子どもたちがお仕事をすることで『しずく通貨』がもらえます。



そのしずく通貨を使って「商店コーナー」で「お買い物体験」ができます。子ども大抽選会も予定しています。ぜひ遊びに来てください。

■日時 7月25日(土)

13時～15時30分まで

(受付: 12時30分～)

■場所 佐伯市蒲江児童館 (道の駅かまえ 駐車場となり)

■問合せ先 佐伯市蒲江児童館

TEL 42-1620 山内まで

※詳細は社協(蒲江児童館)ホームページをご覧ください。



『オレンジカフェ』が 佐伯ではじまりました

6月より佐伯市グループホーム協議会は、毎月第一・第三日曜日の10時から12時に『オレンジカフェ』を仲町プラザで始めました

オレンジカフェは認知症の方やその家族、地域住民が気軽に立ち寄れるカフェです。

病院や施設とは違う場所（特に仲町は高齢者が馴染み深い場所）で、利用する人に合わせて、介護経験者や医療・介護専門職に相談することができ、行政サービスや早期支援につなげられる場になると期待されています。また、介護する家族が同じ境遇で悩む人に出会って話しをすることで、仲間づくりにつながり、生活の実情に沿った工夫や介護情報の交換などができます。



『佐伯保養院の山内勇人先生も都合がつけば顔を出してくるので、専門医への受診に踏み切れない方も、その場でお話ができることもあります。ぜひ気軽にご利用下さい』と責任者の前田さん。

駐車場は、つつみ泌尿器科医院、しろやま調剤薬局、日本生命佐伯営業所が利用できます。

■連絡先 オレンジカフェ相談

窓口

電話 3310750

介護事業所 ひだまり 前田

もしもの時の緊急情報キット！



■『緊急情報キット』って？

緊急情報キットは、氏名・生年月日・血液型など救急時に必要な情報や、緊急連絡先、かかりつけ医療機関・既往歴などの情報を書いたカードを、筒状のプラスチック容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておくというものです。

■活用事例

一人暮らしの方が自宅で体調を崩し、本人が通報。救急隊が駆け付けた時は意識がはっきりとして

いなく、緊急情報キットからかかりつけ医療機関や緊急連絡先の情報を得て迅速な対応に繋がった。

■配付対象はどんな人？

佐伯市で暮らす、70歳以上の、一人暮らし高齢者の方や高齢者のみの世帯の方、健康に不安を抱えているなどの理由で配付を希望する方が対象となります。

■どうやってもらえるの？

申請が必要となります。希望者は、お近くの民生委員にご相談ください。

※希望者世帯へ、担当民生委員が訪問させていただきます。ご協力をお願いいたします。

問合せ先

佐伯市社会福祉協議会
本部 地域福祉課
電話 2317450

みんなで支えあう まちづくりを目指して

平成26年度
事業報告

佐伯市社会福祉協議会は“みんなで支えあうまちづくり”を進めるために、住民の・住民による・住民のための福祉活動を支援するために、次のように取り組んできました。

平成27年5月27日に理事会、28日に評議員会が開催され、平成26年度の事業報告と決算報告が承認されました。

総務課からは、①会務の運営 ②社会福祉従事者等の顕彰 ③職員の資質の向上への取り組みなど、8項目が報告されました。

その中でも、経営検討会議は5回にわたって開催され、自主財源の確保を含め中期的な財政基盤の確立に向けた取り組みが検討されました。

次に地域福祉課より、①地区社協事業の推進、②各種サロン事業の推進、③地域福祉ネットワークの推進、④大規模災害に対応できる仕組み作りや地域における災害対策の研究、⑤子育て支援の強化など、12項目が報告されました。

特に大規模災害に対応できる仕組み作りについては、佐伯市災害ボランティアネットワーク協議会を4回にわたって開催し、『顔の見える関係づくり』を基本に、災害時の連携をいかにとっていくかなどが打ち合わせされました。

その他理事から次のような質問が出されました。

- ① 「児童館の利用が減っているが、その理由については」
- ② 「小中学校等で実施されている福祉体験プログラムの開催はどうして増加したのか」
- ③ 「シニア婚活は結婚が目的のように感じるが、目的からすると名称を変更した方がよいのではないか」

それに対して事務局からは、①「児童館利用者数については、事業を実施する際、台風などが影響し参加者が少なく、さらに児童数の減少も影響した」

②「福祉体験プログラムは学校等へ積極的に働きかけている」

③「シニア婚活応援事業については出会いの場所の確保であり、結婚が最終目的ではない。名称等は今後検討していく。昨年度はカップルも誕生した」との説明が行われました。

次に在宅福祉課より、

①介護保険事業の状況、②障がい者を対象とした事業、③受託事業の

状況が報告されました。介護保険関係の事業では利用者数の減少が大きく、減収となっていること。また、介護職員処遇改善への取り組みでは、介護職員処遇改善交付金の支給を行うとともに、管理職の目標管理とヒヤリングを実施したことが説明されました。

最後に施設福祉課より特別養護老人ホーム豊寿苑の状況が伝えられ、100名の入苑者

の平均年齢は86歳10ヶ月、60・21%が介護度4・5の状態となっているとの説明がありました。

さらに、職員研修では拘束ゼロを継続するために体験型の研修を実施し、職員の資質向上に努めたとの報告がありました。

詳細は当会ホームページ (<http://www.sashakyo.or.jp/>) に掲載しています。

平成26年度 収支決算報告

●収入の部

(単位：円)

会費収入	8,968,038
寄付金収入	10,009,730
補助金	532,440
県社協助成金	256,550
受託金	169,126,300
事業収入	35,766,042
貸付事業収入	337,000
共同募金配分金	10,131,653
介護保険収入	839,009,507
自立支援費収入	14,838,510
雑収入	5,222,347
受取利息	265,410
経理区分間繰入金収入	150,140,612
施設整備等収入	761,133
財務活動収入	30,991,350
前期末支払資金残高	241,817,773
合計	1,518,174,395

●支出の部

(単位：円)

人件費支出	810,086,259
事務費支出	16,429,032
事業支出	254,290,749
貸付事業費支出	205,000
助成金支出	17,946,588
負担金支出	53,717,056
配分金支出	540,000
経理区分間繰入金支出	150,140,612
施設整備等支出	1,634,313
財務活動支出	23,089,960
予備費	190,094,826
合計	1,518,174,395



会費のご協力をお願いします

佐伯市社会福祉協議会では「みんなで支えあうまちづくり」をめざし、地域福祉・在宅福祉・施設福祉の向上に取り組んでいます。

地域福祉事業については、皆様方からの会費をはじめ、共同募金助成金、寄付金などの財源で運営しております。

皆様からご協力いただいております。皆さまの会費には、市民の皆様一人ひとりが、地域福祉活動に参加していただくという意味があります。

今年度も7月から8月にかけて佐伯市自治委員会連合会のご協力によって取りまとめさせていただくこととなっております。市民の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成26年度 会費実績

種類	金額
一般会費	8,569,980円
賛助会費	258,448円
団体会費（企業等）	139,610円
合計	8,968,038円

地域福祉事業
260円

地区社協の支援・子育てサロン・地域での防災講座・ボランティアセンター・広報啓発事業・生活福祉資金貸付事業・福祉用具貸付事業・社会福祉大会・地域の実情に応じた事業等



会費500円
の使いみち

地区社協事業
240円

地区社協（20カ所）
事業費として

配食サービス



『佐伯地区での初めての配食！
たくさんの人に支えられています。』

福祉体験事業



『大丈夫？段差うまく押せるかな』

子育てサロン



『気持ちよくて、笑っちゃう！』



義援金のお願い

屋久島町口永良部島の新岳が爆発的噴火をしたことにより、島民全員が島外へ避難する事態となりました。

今後、避難の長期化が予想されることから、島民の方々を支援するため、義援金の募集を始めました。

集まった義援金については、鹿児島県、鹿児島県共同募金会、日本赤十字社鹿児島支部等で構成された義援金配分委員会で決定し、屋久島町を通じて被災者へ配分する予定です。

①受付期間 平成27年6月3日(水)～

平成27年12月25日(金)まで

②義援金受入口座

金融機関名	口座番号	名 義
鹿児島銀行 県庁支店	(普) 3014786	福) 鹿児島県 共同募金会
南日本銀行 県庁支店	(普) 1142855	福) 鹿児島県 共同募金会
ゆうちょ銀行	00950-7-235456	鹿児島県 共同募金会 噴火災害義援金

③現金書留 (受付期間中は料金免除となります。)

〒879-8517

鹿児島市鴨池新町1-7 社会福祉センター内
社会福祉法人 鹿児島県共同募金会

※宛名のところに『救助用』と明記のうえ、ご送金をお願いします。

寄付のお礼

『第17回佐伯ふれあいチャリティーショー』が、佐伯市保健福祉総合センター「和楽」で盛大に開かれました。

このチャリティーショーの益金すべては、第1回目から市内の福祉施設等へ寄付をされており、植田智恵美代表と瀬口万里子会計担当が社協を訪れご寄付いただきました。大切にさせていただきます。



第17回 豊寿苑 盆踊り・納涼花火大会

佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑にて、恒例の盆踊り・納涼花火大会が行われます。1、400発あまりの花火が、夏の夜空を彩ります。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時：平成27年8月18日(火)

18時45分～20時30分

※雨天の場合は8月21日(金)に延期

場所：豊寿苑グラウンド

(お問い合わせ)

佐伯市社会福祉協議会

豊寿苑 電話4612226

染矢まで



福祉・介護の職場を体験してみませんか！

～あなたのやさしさが きっと活かせる～

福祉・介護の仕事に関心をお持ちの方であれば、どなたでも結構です。参加料は無料です。

○体験期間：6月1日(月)～翌年2月29日(月)のうち、おおむね3日間
(ご本人の希望を尊重)

○体験場所：県内の社会福祉施設

○申込み：大分県福祉人材センターまたは各ハローワーク・市町村の窓口に「申込用紙」があり、FAXにて申込み

○締 切：体験希望の10日前まで

○問い合わせ：大分県福祉人材センター
TEL 097-552-7000
FAX 097-552-7002



感動物語、かわいい物語、うれしい物語、大笑いする物語、悲しい物語など、身のまわりで起きた出来事を聞かせてください。

「大きな市の小さな物語」

おハガキ、封書、メール何でもOK
(住所・氏名・TELをお忘れなく)

投稿募集

プレゼント



【宛先】〒876-0844 佐伯市向島1丁目1番3号

佐伯市社会福祉協議会内 広報係

TEL:22-2150 Eメール sashakyo@saiki.tv

【募集期限】 8月19日必着

【応募作品について】 厳正なる審査のうえ社協だより9月15日号に掲載予定です。尚、採用された方には佐伯市社協イメージキャラクター「ひとしずくちゃん」のエコバックをプレゼント。

香典返し

(住所)	(寄付者)	(故人)	(住所)	(寄付者)	(故人)
【佐伯】			大分市大字城原	佐藤日出美様	河野テルコ様
百谷区	廣瀬 和喜様	敏幸様	【直川】		
上岡	渡邊 浩世様	政通様	下直見	佐々木正亀様	コチエ様
石打区	入江 敦子様	清松眞津恵様	仁田原	久保田嘉博様	弘様
東灘区	中川 一正様	進様	【鶴見】		
上岡区	石井 勝明様	干城様	有明浦	畑野 理様	サツ子様
内町	池田 義彦様	フジ様	地松浦	高橋 幸長様	幸枝様
大野西区	長澤賢一郎様	千鶴子様	地松浦	成松加志子様	孝様
大宮区	岡村恵美子様	重徳様	【米水津】		
黒沢区	佐藤 育男様	列様	宮野浦	益田 秀人様	昌子様
中村東町	宇高 静子様	勝様	浦代浦	松尾 義春様	スミエ様
宇山区	高瀬 和宏様	金太郎様	小浦	出納美津代様	ツル子様
東町	山口 恒雄様	八千代様	一般寄付		
木立	谷田 祐治様	明様	色利浦	佐伯ふれあいチャリティーション様	
女島区	松下 義明様	敏子様	物品寄付		
荒網代西区	丸山谷三郎様	ソワ様	弥生	匿名 紙おむつ	
来島町	小笠原康之様	真由美様	丸市尾浦	NPO「とまと」代表 高橋寿恵様	積み木(知育遊具)
【上浦】			XXXXXXXXXXXX お詫びと訂正 XXXXXXXXXXXXXXX		
最勝海浦	橋本 宮子様	一見様	社協だより56号(5月15日号)に掲載されました		
【弥生】			お名前に間違いがありました。		
山梨子	宮脇 憲治様	テル子様	【弥生】久乃富喜様→久野豊喜様		
提内	五十川健一郎様	吉信様	【本匠】高橋明彦様→高橋昭彦様		
大坂本	大石 孝志様	文子様	関係者並びに読者の皆さまにご迷惑おかけしたと、		
江良	菅田 政俊様	篤子様	訂正してお詫び申し上げます。		
江良	鶴原 正人様	ソヨ子様			
【本匠】					
堂ノ間	柳井 秀様	吉光様			
【宇目】					
小野市	富田 久文様	浩二様			

寄付のお礼

次の方々から、ご寄付をいただきました。
 紙面掲載にてご報告のうえ、心より厚くお礼申し上げます。
 (受付期間：平成27年4月21日から平成27年6月15日)

無料 民生委員による **心配ごと相談会**

日頃の生活の中でおこる些細な出来事の相談等々、内容は問いません。担当民生委員が無料で相談に応じます。お気軽にお越しください。

担当支部	日付	時間	会場
佐伯	8/ 5(水)	13:30~16:00	社協会館「きずな」
	9/ 2(水)		
蒲江	8/19(水)	9:00~12:00	蒲江地区公民館

要予約 **弁護士の法律相談**

日付	時間	弁護士	会場
8/ 7(金)	13:30~15:30	三井嘉雄	社協会館「きずな」
8/20(木)	13:30~14:00	渡辺法律事務所	社協会館「きずな」
9/17(木)	13:30~16:00	西山 巖	社協会館「きずな」

※弁護士費用は、社会福祉協議会が負担いたしますので、無料です。

■お問い合わせ：社協会館「きずな」(TEL23-7450 担当/渡辺)

歳末たすけあい募金 助成金申請の受付開始

年末年始にかけて、地域のお年寄りや子どもたち・要援護者等に対し、歳末たすけあい運動の趣旨に添った事業を実施する団体、広域的に活動する福祉団体の事業費または活動費の一部を助成し、活動を支援します。

事業内容や予算等を審査し、助成金事業等募集要項により決定します。

詳しい内容につきましては下記までお問い合わせください。

- 募集期間
平成27年7月15日(水)～8月31日(月)
- お問い合わせ
佐伯市共同募金委員会事務局(社協本部)
電話 22-2150 担当 大石

編集後記

私は、この4月から子どものお弁当を作るようになった。今まで遠足と運動会の時ぐらいしか作らなかつた私が、毎日頑張っているのには訳がある。

それは、夕方、子どもが黙って差し出す空っぽの大きなお弁当箱だ。不器用なわたしが作るのだから失敗したり、前夜の残りものだったり…子どもが苦手な食材も遠慮なく投入する(笑)それでも子どもは、毎日きれいに完食！朝夕の送迎と毎日のお弁当作りは大変だけど、日々成長していく子どもと過ごす残された時間を考えると「大変なことが大切な瞬間」に思える。

空っぽの大きなお弁当箱の中には、子どもからの「ありがとう！」が詰まっている。 しおだ